

2025年 5月～6月 インターハイ予選



最終戦を終えて

一回戦（5月18日）	世田谷総合	91 - 35	都日本橋
二回戦（5月25日）	世田谷総合	101 - 92	筑波大付属
三回戦（6月1日）	世田谷総合	62 - 73	都小山台

【大会レポート】

- 一回戦 1Q から勢いに乗って、走るバスケットができました。入部したての1年生が得点を決めるなど、チームで戦うことができました。3Q に大黒柱の3年センターが怪我をしまい、難しい展開になりましたが、2年生が奮闘してくれました。
- 二回戦 相手エースの 1on1 に苦しみ、チーム全員で何とか抑えようと頑張りましたが、結果的に一人に 57 点取られる苦しい展開となりました。4Q 残り 5 秒 2 点ビハインドから、キャプテンがドライブから決め切り、オーバータイムに突入しました。最後はチームプレーでオーバータイムを勝ち切りました。
- 三回戦 シード校相手に、前半何とか食らいついていきました。しかし、3Q で相手の流れになってしまい、点差が広がってしまいました。4Q では意地を見せ、17 点追い上げましたが、最後は届かず、シード獲得とはなりませんでした。しかし、最後まで諦めずによく頑張ったと思います。



引退した3年生6人

3年生最後の大会であるインターハイ予選。チームで立てた今大会の目標は、3回戦に勝って再び「ベスト56」に入ること。惜しくも届きませんでした。しっかり出し切って終われたのではないかと思います。

夏は昨年度よりも上位のリーグを戦ったことで、本当に負け続きで苦しい毎日だったはず。しかし、その頑張りが実を結んで、新人大会ではシードを守れたことが、1つの成果だったのではないかと思います。

16期生6人には、仲が良いだけでは表せない強い絆があったように思います。それは「家族」のようなもので、みんなで笑い、泣き、時として厳しい意見をぶつけ合うこともありました。私が細かいことを指摘しても、めげずに真剣に取り組んでくれました。本当に、よくできた娘たちです。

インターハイ予選ではオーバータイムにもつれるような、一進一退のしびれるゲームをものにし、バスケットボールの醍醐味を味わせてくれました。この試合で体現できたように、最後まで諦めないことが、夢や目標の実現に必ずプラスになると思います。

この大会で3年生は引退となりました。今大会も、熱い声援をいただきありがとうございました。オーバータイムを勝ち切れたのも、保護者の皆様、卒業生のみんな、先生方、男バスのみんなのおかげです。

16期生は、私が学年主任を務めている代です。いつも近くで見ていたので、思い出があるし、いなくなるのは寂しいですが、今後もOGとして、世田総女バス発展のために力を貸してください。ナイスゲームでした！お疲れさま。

(顧問：寺崎)